研究の森
リサーチ・プロの緑化計画

Vol. 7

実りある研究を！



あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。 おかげさまで、様々な案件にお声をかけていただき、年始めより忙しい日々を過ごしております。
新年最初の交流会にも関わらず、ニュースレターのみ参加になってしまいましたが、この1年も皆様に役立つ情報を集め、この紙面や交流会にて報告させていただきたいと思っております。
本年もどうぞもよろしくお願いいたします。

行ってきました





有限会社 白浜機械工業
北村宗弘 代表取締役

普通が続けられるポイントはセンスなのかもしれません

新しいマシン

白浜町、松原神社の近くには、最近なぜか縁があるようで、近くに行ったり、縁のある人と話したりで、何か呼ばれているような気がします。そんな事もあり、今回は白浜機械工業に押しかけ取材に行ってきました。
「普通の鉄工所なだけ」と北村社長は言われましたが、大体は普通じゃないものです。



焼けた金属オイルが香る工場のドアを開けると、昭和時代のボール盤や慣れた感じのNC加工機に囲まれ、白い筐体の放電加工機が目を引きます。これが、すごい勢いで銅のワイヤーを消費しながら大きなステンレスブロックを切断していました。「使用済みワイヤーが自然と8の字に束なっていくんだ・・」と、妙なところに感心しつつ「消耗品が装置メーカーの利益の源泉か・・」と納得、梅原相談役の講演を思い返します。

うまいこと動く？

設備投資は不況に合わせてするらしく、放電加工機は昨年の夏に買ったところとだそうです。実は今回の訪問のキッカケは、「新しい機械がうまいこと調整しながら金属を切断するんや」と北村社長が嬉しそうに言うのを聞いて興味を持ったのですが、悲しいかな素人が少し見たくらいでは、「うまいこ」と切っているのか「普通」に切っているのか、全くわかりません。ただ、「うまいこと」切らないと加工時間とコストに差が発生しそうだと言う事はよくわかりました。



［昭和のボール盤］

常に挑戦

「加工の難しいものに挑戦するのが面白い」と言う北村社長は、「大体の形は出来るようになったので面白い仕事が少なくなった・・」との事。
他社はできないような難しい注文をこなす事が「やりがい」と言うことなので、他社で「これは無理やで・・」と断られた加工があれば白浜機械工業まで是非お問い合わせください。

（終わり　ウラへ←



Daily Science

After a long time

冬の朝

今朝も冷たい空気が鼻に刺さり、明け方の月が寒々と輝いていました。吐く息が凍りつく季節、布団に入る時の冷たさがツライと感じる人も多いと思います。

私は幸いな事に、温かく寝る事ができます。なぜかと言えば、大概は二人の娘に挟まれて一緒の布団で寝るからです。いいでしょ（笑）

たまに旅先などで一人で寝るときに、「自分も熱を発しているのだから一人でも上手くすれば暖かいのでは？」と考えたりしますが、まあ無理です。

こんな当たり前のことについて、氷点下のプラットホームで電車を待ちながら、もう少し掘り下げて考えてみました。

鏡の必要性

これはつまり、「自身が発する熱は自身では感じることはできない」と言うことなんですね。いや、布団に入ってしばらくすれば自身の熱を感じると言われるかもしれませんが、これは体温が布団に移って、布団の温かさを感じているのです。



やはり「発している自身の熱を自身で感じられない、自身が発する光は自身が見れない」という事が正しいのでしょう。そして、自身で発している言葉や考えは、「自分の考えを代弁する人」や「対極的に意見する人」などをパートナーとして、その人から聞いた事を評価しないと自分では善し悪しが判らないと言えます。

一人で考え尽くしても、良い案を出すのはとても難しいものです。新しい計画は二人以上で進めましょう。意外と、話を聞いてくれるだけの相手でも役に立つものです。

（終わり）



Research Pro. Office

リサーチ･プロ･オフィス

〒671-1143
姫路市大津区天満538-10
TEL ：(079) 260-8132
Fax ：(079) 239-1042
e-Mail ：naka@rpo.jp
URL ：http://rpo.jp

代表　中安 豪
（理学博士　環境計量士）大阪大学　特任助教
先端科学イノベーションセンター
科学技術キャリア創成支援室

多くの方のとのご縁をいただき、様々な分野の仕事と関わる事ができるようになってまいりました。

その感謝の気持ちをこめて、今回のニュースレターにはクリアファイルをつけて送りたいと思います。

これは、新しく連携した会社との合作です。

少しアート感覚で、受け取った方に喜ばれるようなモノができないかと思い、作成してみました。

ご愛用いただけると幸いです。



追記

表面の記事に誤植があります。

ご指摘いただいた方は愛読者だと思いますので、次はご指摘いただいた方の所へ訪問させていただきたいと思います。